

あやめ

文責:生徒指導主事 渡邊 英輝

殻を破り、未来へ羽ばたく第一歩～スローガン「Blue Egg」を胸に～

新緑が目に見え鮮やかな季節となりました。先週、本校1学年は一泊二日の校外学習を実施いたしました。一部、天候に恵まれない場面もありましたが、生徒たちはこの校外学習のスローガンである『Blue Egg』を合言葉に、一人ひとりが自分の殻を破り、一回り大きく成長した姿を見せてくれました。

【第1日】未知の体験に挑み、仲間と歩む

初日の午前中は、西湖のほとりにある「いやしの里根場」を訪れました。生徒たちはグループごとに分かれ、匂い袋作り、へら彫金、くるみボタン作りなどの体験学習に挑戦。初めての経験に戸惑いながらも、真剣に作品に向き合う姿は、まさに知的な好奇心という「殻」を破ろうとする熱意に溢れていました。

西湖野鳥の森公園での昼食後は、10グループに分かれての「樹海ガイドツアー」です。ところがここで突然の雷で青木ヶ原樹海散策を断念し、富岳風穴・鳴沢氷穴の幻想的な自然にだけ触れました。足元の悪い中、仲間と励まし合いながら進む姿に、学年の絆が深まっていくのを感じました。宿泊先の「本栖湖スポーツセンター」でのキャンドルファイヤーでは、静寂の中で自分自身を見つめ直し、これからの成長を誓い合いました。

【第2日】晴天の下、学びを深める

二日目は一転して素晴らしい晴天に恵まれ、雄大な富士山が私たちを迎えてくれました。この日は学級ごとに分かれ、充実した見学を行いました。

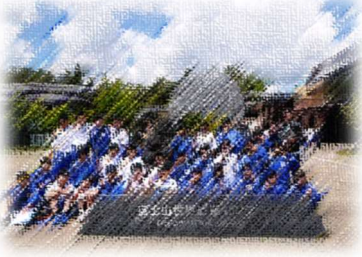
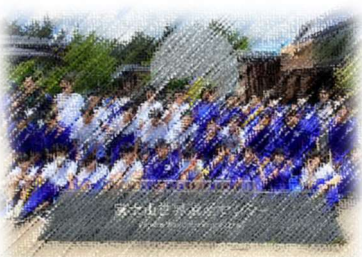
- ◆ 富士山世界遺産センター：富士山の歴史と信仰を深く学びました。
- ◆ 忍野八海：神秘的な湧水の美しさに感嘆の声が上がりました。
- ◆ 富士山科学研究所・富士湧水の里水族館：豊かな生態系への理解を深めました。

途中から雷（ひょう）が降るなどハプニングもありましたが、クラスメイトと笑顔で過ごした時間は、かけがえのない思い出となりました。

TTKの実践と次なるステップへ

今回の校外学習は、公共の場でのマナーを守り（正しく）、仲間と思い切り楽しむ（たのしい）、まさにTTK（正しくたのしい櫛形中学校）を実体験した二日間となりました。

スローガン『Blue Egg』。まだ未熟な卵である生徒たちが、この二日間で得た経験という栄養を糧に、これからどのような彩りを持って羽ばたいていくのか、非常に楽しみです。準備や送迎等で温かく送り出していただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。



知り尽くそう山梨の魅力！～探究心で彩った「県内巡り」～

爽やかな五月晴れとなった先週末、第2学年では「県内巡り」を実施いたしました。今回の学習は、1年次から総合的な学習の時間で積み重ねてきた事前学習の集大成です。生徒たちは自らの興味・関心に基づき、山梨が誇る文化や自然を肌で感じる一日を過ごしました。

■ 5つのコースで深める「郷土・山梨」への理解

今回の校外学習では、生徒たちの希望に合わせて以下の5つの専門コースに分かれ、大型バスで各地を巡りました。

- **自然コース**：山梨の豊かな自然環境とその保全について学びました。
- **清里・芸術コース**：清里の開拓史や、感性を刺激する芸術作品に触れました。
- **歴史コース**：古の史跡を訪ね、郷土の歩みに思いを馳せました。
- **身延コース**：伝統ある文化遺産や地域の精神性に触れ、理解を深めました。
- **産業コース**：山梨を支える地場産業の最前線を見学し、社会の仕組みを学びました。

各見学地では、これまで調べてきた内容を自分の目で確かめ、熱心にメモを取る姿が見られました。単なる「観光」ではなく、自ら課題を持って臨む「探究」の姿勢が随所に光っていました。



■ スローガンの達成、そしてTTKの実践

学年の県内巡りスローガン「知り尽くそう山梨の魅力～仲間と新たな発見を～」の通り、見慣れた景色の中にも新しい発見が多くあったようです。また、移動中の車内や見学先でも、仲間と意見を交わしながら絆を深め、本校のモットーであるTTK（正しくたのしい楡形中学校）を校外の場でも立派に体現してくれました。

朝8時に期待に胸を膨らませて出発した生徒たちは、充実した表情で夕方17時に学校へと帰着・解散いたしました。今回の学びは、今後事後学習としてまとめ、さらに深めていく予定です。

朝早くからの準備やお弁当、温かい送り出しをいただいた保護者の皆様、ご協力誠にありがとうございました。

ようこそ！ 教育実習生

本日5月18日（月）から6月5日（金）までの3週間、教育実習が行われます。今年度は音楽科の西川 心（にしかわ こころ）先生をお迎えしました。

音楽の授業をはじめ、朝の学活や休み時間など、様々な場面で生徒の皆さんと関わっていく予定です。実習期間は3週間と短いですが、西川先生の明るい笑顔と情熱で、学校がさらに活気あふれる場になることを期待しています。生徒の皆さんも、ぜひ積極的に声をかけてたくさんお話ししてみてくださいね。次回の「学校だより」あやめでは西川先生のインタビューを掲載しようと思います。

